

平成22年度出雲エネルギーセンター環境監視業務 環境監視結果概要

項目	実施地点・範囲	実施時期・頻度	平成22年												平成23年			内容・結果		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
事業実施状況	施設の建設工事	事業区域内	平成13～14年度	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	平成13～14年度に終了。
	施設の稼働	事業区域内	平成15年度～	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	平成15年度より稼働開始。
環境監視調査	大気質	地上気象大気質	事業区域周辺集落1地点	2回/年					●									●	施設周辺の集落において環境基準等の項目を測定。冬季調査時(1月)浮遊粒子状物質が168データの内の1データが基準値を超えた。	
		排ガスダイオキシン類	施設内	2回/年					●										●	2系列それぞれの排ガス中ダイオキシン類を測定。法規制値及び施設保証値を十分に満足している。
	騒音	道路交通騒音	事業区域周辺道路2地点	1回/年															●	施設へのアクセス道路2地点において測定。環境基準B類型(道路に面する地域)の基準値65デシベルを上回っているが、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。
		一般環境騒音	事業区域周辺集落1地点	1回/年															●	最も近い民家において測定。環境基準B類型(道路に面しない地域)の基準値(昼間55デシベル・夜間45デシベル)を満足しており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。
	振動	道路交通振動	事業区域周辺道路2地点	1回/年															●	施設へのアクセス道路2地点において測定。人間の振動体感閾値(55デシベル)を十分に下回っており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。
		一般環境振動	事業区域周辺集落1地点	1回/年															●	最も近い民家において測定。人間の振動体感閾値(55デシベル)を十分に下回っており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。
	交通量	交通量	事業区域周辺道路2地点	1回/年															●	施設へのアクセス道路2地点において測定。通行車両台数は1,338～1631台であり、事業実施前(約1,000～1,100台)と比べて増加しているが、パッカー車(No.1地点56台、No.2地点11台)の増加よりも全体交通量の増加によるものである。
	水質	水質	事業区域周辺調整池1地点	1回/年					●											施設下流の調整池にて環境基準(参考値)の項目を測定。全燐が0.051mg/lと環境基準値(0.05mg/l)を超えていた。その他の項目は環境基準値(参考値)を満足していた。※参考値とは、本調査対象池は貯水量が少なく、環境基準対象外。
	底質	底質	事業区域周辺調整池1地点	1回/年					●											施設下流の調整池にて重金属やダイオキシン類等の項目を測定。ダイオキシン類は環境基準値を十分に満足しており、その他についても前年度とほぼ同様の結果となっている。
	植物	植生(植物群落)	事業区域周辺半径500m	1回/年						●										施設周辺において調査を実施。今回確認した注目すべき種は、哺乳類4種、鳥類4種、両生類2種、昆虫類20種、植物8種であった。また、既に確認されていた種の新たな生息地も確認された。土地の改変は完了しており、近傍で確認された注目すべき種が今年度も確認されたこと等、工事及び施設稼働による影響は軽微な状態といえる。
		植物相(出現種)		1回/年						●										
	動物	ほ乳類	事業区域周辺半径500m	1回/年						●										
		鳥類		1回/年															●	
		両生類		1回/年							●									
		は虫類		1回/年							●									
	昆虫類	事業区域周辺半径1km	1回/年						●											
悪臭	悪臭・臭気	施設敷地境界1地点	2回/年					●										●	風下の敷地境界において測定。規制基準等を十分に満足している。	
土壌	土壌	事業区域周辺集落7地点	1回/年					●											施設周辺の集落において環境基準の項目を測定。環境基準値を十分に満足している。	